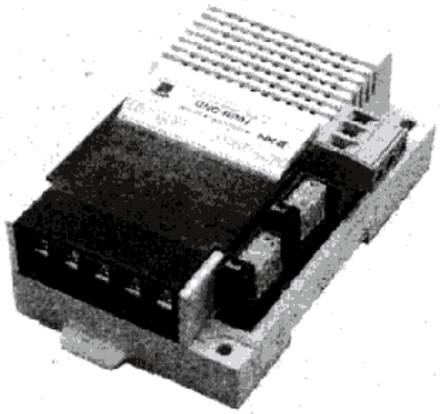
# 設備の状況や異常をe-メールで自動通報

## NKEが簡易情報連絡端末

NKE（京都府長岡京市、中村圭二社長）は、設備の状態や異常をモニタリングし、その状況をe-メールで自動通報できる簡易情報連絡端末「オートメッセンジャー れんら君」（UNC-RPO1、価格は未定）を八月一日から発売することのほど発表した。



NKEの簡易情報連絡端末

今回発売するのは、大きさが五七×九〇×三三㍉のコンパクトボディーで、DINレール固定またはマグネット取り付けなど設置が簡単。既設LANに接続するだけで簡単に使える。メール配信先や発信情報の設定もLANケーブルを接続し、パソコンで簡単に設定でき、モニタリング稼働時にはパソコンやサーバーは一切必要ない。

情報通知はe-メール送信なので、いつでもどこでも携帯電話やパソコン、PDAなどの端末機器で情報を受信でき、メール本文だけでなく、さまざまな添付ファイルも送信できるため、保守担当者が適切な処置を迅速・確実に行うことができる。

さらに、インターネットを経由して情報を発信する「れんら君」は、高いセキュリティ機能を持ち、ウイルスの影響を一切受けることはないため安心して使える。

機能は、二点入力、一点出力のI/O機能とLANポートを持ち、入力にセンサーなどの検知スイッチ、出力にブザー、ランプなどの警報機器、LANポートにLANケーブルを接続。異常が起こればセンサーなどの入力機器が検知し、れんら君に信号が入り、ブザー、ランプなどの警報機器に出力、LANを経由して情報を通知する。

加えて、一定時間継続した信号により「注意を通知する一回目のメール」、さらに継続した信号を受け「警告を通知する二回目のメール」を発信する機能を持っており、異常の度合い、緊急度により通知する情報、通知先などを設定できる。

なお、同機はFA設備のモニタリング以外に簡易防犯システム、一般住宅の簡易セキュリティなどさまざまな用途に使える。

## 用語解説

### CCC（中国強制認証）

CCCはChina Compulsory Certification（3C）の頭文字から取った。施行は2003年8月から。中国での強制認証のこと。この日から該当製品はCCC認証が未取得の場合は中国への輸出や中国内での販売ができない。

CCCは電気安全・EMCに関する製品安全関連基準認証制度。中国のWTO加盟に伴って従来の二つの認証のCCEE認証／CCIB認証を国内外製品認証制度で、一本化を図った制度だ。

中国ではCCC（電気安全・EMC）のほかに、無線機器関連の微弱電波認証制度、通信端末機器関連の入網許可制度、旧機電製品輸入検査制度などが強制認証になっている。

日本のメーカー各社は中国での輸出入が増えていることから、CCC認証取得に取り組んでいる。対象製品は製品品質法に基づいて販売されるもので、無線管理局、電信管理局、医薬品監督管理局所管の製品の一部を含めた19機種、132品目に及ぶ。

〈翔け　若い力〉

## 機構改革・人事

**信越化学工業**

〈組織変更〉（15日付）
シリコーン事業部に業務部を新設する。

〈人事〉
マシリコーン事業本部業務部長 上杉信行。